

確かな学力向上推進プラン

令和4年4月 現在
江戸川区立葛西中学校

学力向上に向けた目標値																		
成果指標：都学力調査における到達目標値を超える割合																		
年度 教科	平成30年度		平成31年度（令和元年度）				令和2年度				令和3年度（全国学力調査より）				令和4年度			
	結果		目標値		結果		目標値		結果		目標値		結果		目標値		結果	
国語	25問	72.6%	問	73%	24問	70.5%	問	%	21問	74.3%	問	%	8.8問	63.0%	問	%	問	%
社会	28問	61.4%	問	62%	27問	49.8%	問	%	23問	57.1%					問	%	問	%
数学	28問	51.7%	問	53%	23問	52.3%	問	%	24問	53.0%	問	%	9問	56.0%	問	%	問	%
理科	26問	50.0%	問	52%	25問	49.0%	問	%	29問	41.4%					問	%	問	%
英語	26問	59.1%	問	60%	24問	56.5%	問	%	24問	53.5%					問	%	問	%

学力向上に向けた取組				
論点	第1学年	第2学年	第3学年	成果指標及び数値目標
論点1 基礎的・基本的事項の定着	<ul style="list-style-type: none"> 授業での小テストの実施 定期テストに向けての補習教室の実施 復習確認テストの実施（年1回） 漢検、英検、数検等の各種検定試験の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での小テストの実施 定期テストに向けての補習教室の実施 復習確認テストの実施（年1回） 漢検、英検、数検等の各種検定試験の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での小テストの実施 定期テストに向けての補習教室の実施 復習確認テストの実施（年3回） 漢検、英検、数検等の各種検定試験の推奨 	<ul style="list-style-type: none"> 学習の到達目標を明示し、生徒が目標を立てて努力する意欲と態度を育てる。 学習目標をどの程度達成したかを的確に評価し、生徒の関心・意欲を高める。
論点2 学習規律の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 課題や提出物の期限の徹底 授業3分前の着席の徹底 ノーチャイム生活による時間意識の向上 葛西中目標『あじみこしわ』の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や提出物の期限の徹底 授業3分前の着席の徹底 ノーチャイム生活による時間意識の向上 葛西中目標『あじみこしわ』の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> 課題や提出物の期限の徹底 授業3分前の着席の徹底 ノーチャイム生活による時間意識の向上 葛西中目標『あじみこしわ』の徹底 	<ul style="list-style-type: none"> ○【全国学力調査】課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。 ・肯定的な回答の目標80%以上
論点3 生活習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノート（スクログ）の活用 長期休み明けの確認テストの実施 定期的に身なりを確認する機会を設ける 長期休業中の生活記録の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノート（タイムくん）の活用 長期休み明けの確認テストの実施 定期的に身なりを確認する機会を設ける 長期休業中の生活記録の活用 	<ul style="list-style-type: none"> 生活記録ノート（タイムくん）の活用 長期休み明けの確認テストの実施 定期的に身なりを確認する機会を設ける 長期休業中の生活記録の活用 	<ul style="list-style-type: none"> ○【全国学力調査】毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか。 ・肯定的な回答の目標90%以上 ○【全国学力調査】毎日、同じくらいの時刻に起きていますか。 ・肯定的な回答の目標90%以上
論点4 家庭学習の指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 学年集会、学級懇談会等での家庭学習の呼びかけ 授業中の課題提出の徹底 家庭学習課題 補充学習的にワークを活用した宿題の実施 学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 学年集会、学級懇談会等での家庭学習の呼びかけ 授業中の課題提出の徹底 週末課題、早帰り課題の実施 学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> 進路説明会での家庭学習の呼びかけ 授業、学年での課題提出の徹底 計画的な家庭学習習慣の確立 補充学習的にワークを活用した宿題の実施 学習計画表の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ○【全国学力調査】学校での授業時間以外に、普段（月～金曜）1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。 ・1時間以上の回答をする目標80%以上
論点5 言語に関する指導の充実	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の定着 授業中の話し合い活動、発表等を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の定着 授業中の話し合い活動、発表等を取り入れる PowerPointを用いた発表活動 	<ul style="list-style-type: none"> 朝読書の定着 定期的な読書内容のまとめを実施 授業中の話し合い活動、発表等を取り入れる 	<ul style="list-style-type: none"> ○【全国学力調査】学級の生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか。 ・肯定的な回答の目標80%以上
論点6 教員の学習指導力向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の実施（ICTを用いた授業等） 都教委学校訪問による研修の実施 カリキュラム・マネジメントによる小中の系統性を踏まえた指導計画の作成及び実践 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の実施（ICTを用いた授業等） 都教委学校訪問による研修の実施 カリキュラム・マネジメントによる小中の系統性を踏まえた指導計画の作成及び実践 	<ul style="list-style-type: none"> 校内研修の実施（ICTを用いた授業等） 都教委学校訪問による研修の実施 カリキュラム・マネジメントによる小中の系統性を踏まえた指導計画の作成及び実践 	<ul style="list-style-type: none"> ○【学力向上を図るための調査】（各教科の）授業の内容はどのくらい分かりますか。 ・肯定的な回答の目標80%以上

教科	各教科の授業改善に向けた指導の重点		
	第1学年	第2学年	第3学年
国語	<ul style="list-style-type: none"> 常に活動を行い、主体的な授業による学力向上を図る。 創作活動を積極的に行い、想像力、表現力を高め言語活動を豊かにする。 「個人」「グループ」「個人」という段階で意見交流することで、思考力、判断力、表現力の向上につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> 単元ごとに漢字テストをして基礎的・基本的学力の向上を図る。 ICT やワークシートの活用を通して学習内容の理解・定着を図る。 ペアや小グループでの「話し合い」「教え合い」「発表」を通して言語能力を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> 自身の価値観や意見について相対的、客観的に考える場を多く設けるために、単元ごとの意見交換を行う。 毎週決められた時程に漢字テストを実施することで、学習の定着を促す。 古文漢文の音読を積極的に取り入れることで興味関心を持たせ、自主的な学習へとつなげる。
社会	<ul style="list-style-type: none"> 資料の読み取りに慣れさせるために実際に資料を作成する機会を増やし、資料活用の技能向上を図る。 小テストを繰り返し行うことで基礎的・基本的な知識の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書・資料集の資料やデータを活用しながら多面的・多角的に考察できる機会を増やし、資料を読み解く力やその資料から読み取ったことを表現する力の向上を図る。また、ICT 機器の使用により、メディアリテラシーを身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会的な事象に対し、今まで学んできた知識や技能を使用しながら、多面的・多角的に捉えることができる力を育成するため、積極的に話し合い活動やICT 機器を利用した調べ学習を取り入れる。その際、身近な学習課題を設定し、進んで追究する力も育む。
数学	<ul style="list-style-type: none"> 基礎重点コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を確実に身に付けさせる。更に、内容の定着を図るために反復練習を行う。基礎応用コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を身に付けさせ、発展的な内容も取り扱う。生徒同士で教え合い活動を図り、生徒の言語能力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎重点コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を確実に身に付けさせる。更に、内容の定着を図るために反復練習を行う。基礎応用コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を身に付けさせ、発展的な内容も取り扱う。生徒同士で教え合い活動を図り、生徒の言語能力の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 基礎重点コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を確実に身に付けさせる。更に、内容の定着を図るために反復練習を行う。基礎応用コースでは、基礎的・基本的な知識、技能を身に付けさせ、発展的な内容も取り扱う。生徒同士で教え合い活動を図り、生徒の言語能力の向上を目指す。
理科	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、実験や観察を実施し、生徒の知的好奇心や探求心を育む。また、身近な現象と関連付けることで興味関心を高め、図、モデルなどを用いて、論理的な考察の充実を図る。問題演習を繰り返すことで基礎基本の定着を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、実験や観察を実施し、生徒の知的好奇心や探求心を育む。また、身近な現象と関連付けることで興味関心を高め、図、モデルなどを用いて、論理的な考察の充実を図る。問題演習を繰り返すことで基礎基本の定着を図る。定期テスト前には補習教室を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> 各単元において、実験や観察を実施し、生徒の知的好奇心や探求心を育む。また、身近な現象と関連付けることで興味関心を高め、図、モデルなどを用いて、論理的な考察の充実を図る。小テストや問題演習を繰り返すことで知識の定着を図る。定期テスト前には補習教室を実施する。
音楽	<ul style="list-style-type: none"> 音符や音楽記号、基本的内容について平易な課題プリントを作成し、基礎基本の徹底を図るとともに音楽の構造や歴史についても目を向けさせ、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む姿勢を育む。 対話的に学び合う場面を設定し、学習意欲の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な音楽に対する知識理解を深めることで、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む姿勢を育み、自ら表現する課題にも取り組ませていく。 簡単な課題を繰り返し学習し、音楽的な基礎学力を定着させる。 対話的に学び合う場面を作り、学習意欲の向上を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 身近な音楽に対する知識理解を深めることで、主体的、協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組む姿勢を育み、自ら表現する課題にも取り組ませていく。 対話的に学び合う場面を作り、学習意欲の向上を目指す。 音楽による充実した時間を味わわせながら音楽に親しんでいく態度を養う。
美術	<ul style="list-style-type: none"> 表現及び鑑賞活動において共通事項を意識して題材を設定し、造形的な視点を働かせて学習に取り組めるように指導する。 身近なものの色・形・イメージを捉える活動の場を多く設定する。 材料や用具の生かし方について、基礎・基本を習得できるよう指導する。 色や形から感じたことや考えたことについて話し合う場面を適切に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現及び鑑賞活動において共通事項を意識して題材を設定し、造形的な視点を働かせて学習に取り組めるように指導する。 生活や社会の中での美術や美術文化を捉える活動の場を多く設定する。 材料や用具の生かし方について、表したいイメージに合わせて既習事項を活用できるような題材を設定する。 色や形から感じたことや考えたことについて批評し合う場面を適切に設定する。 	<ul style="list-style-type: none"> 表現及び鑑賞活動において共通事項を意識して題材を設定し、造形的な視点を働かせながら、自分の価値意識をもって学習に取り組めるように指導する。 生活や社会の中での美術や美術文化を捉える活動の場を多く設定する。 材料や用具の生かし方について、表したいイメージに合わせて既習事項を活用できるような題材を設定する。 色や形から感じたことや考えたことについて批評し合う場面を適切に設定する。
保健体育	<ul style="list-style-type: none"> 運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能、体力を身につける。 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し、考えたことを他者に伝える力を養う。 仲間と協力して、運動を積極的に楽しもうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能、体力を身につける。 運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し、考えたことを他者に伝える力を養う。 仲間と協力して、運動を積極的に楽しもうとする態度を養う。 	<ul style="list-style-type: none"> 運動、体力の必要性について理解し、基本的な技能、体力を身につける。 運動についての自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考・判断し、考えたことを他者に伝える力を養う。 仲間と協力して、生涯にわたって運動を積極的に楽しもうとする態度を養う。
技術家庭	<ul style="list-style-type: none"> 基礎的・基本的な生活を工夫し改善する能力の育成を指導の重点とする。そのためには、幅広い実践的な活動を多く体験させ、知識の定着とともに実践的から学ぶ力を養成する。授業で意見交換の場を多く取り入れる。 授業に臨む姿勢を大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> 授業での実践内容が、直接、家庭生活の改善につながる学習題材、授業展開を行う。理論的を検証する能力に劣る傾向があるので、知識内容と実習の意義がリンクできる指導展開をする。 授業に臨む姿勢を大切にす。 	<ul style="list-style-type: none"> 限られた授業時間で、学習内容が、これからの社会生活につながる、より実践的な課題であるように、指導内容を精査する。 学習課題の提示同法、授業で使用する配布物に生徒一人一人が自ら考え、調べる工夫をする。 授業に臨む姿勢を大切にす。
外国語(英語)	<ul style="list-style-type: none"> 単元終了後に単元テストや単語テストを行うことで基礎的・基本的な知識の定着を図る。 既習の文法を用いてコミュニケーションをとる機会を多く設ける。 授業の中でアウトプットする機会を多く設け、実際に英語を活用する時間を確保する。 問題演習の時間を授業内で確保し、学び合いを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に単語テストを実施し、基礎的・基本的な知識の定着を図る。 既習の文法を用いて英語でやり取りをする機会を多く設ける。 授業の中でアウトプットする機会を多く設け、実際に英語を活用する時間を確保する。 問題演習の時間を授業内で確保し、学び合いを促す。 	<ul style="list-style-type: none"> まとまった長文を読む機会を増やし、自分で読解する力を養う。 単語や文法など既習事項の復習をするための問題演習を実施する。 問題演習の時間には教え合いを促す。 英文を声に出す機会を設ける。